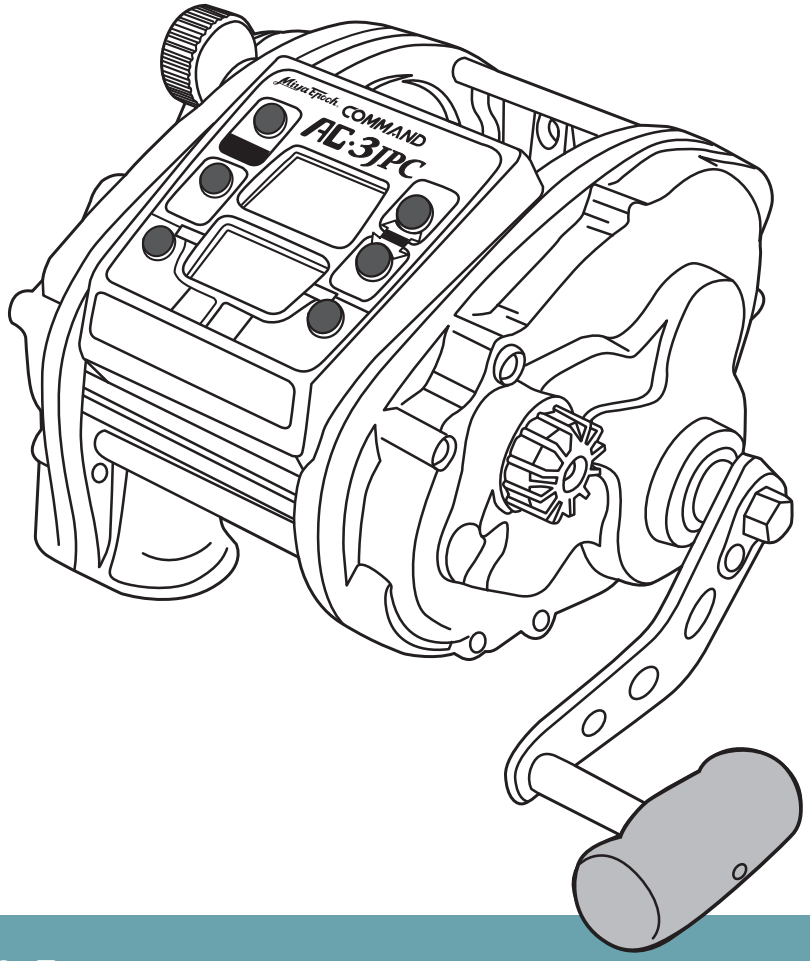
取扱説明書

Miya Epoch®

COMMAND AC-3JPC/3JP



ミヤエポック®

魚釣り用電動リール

COMMAND AC-3JPC 12V/3JP 12V・24V

■このたびは、ミヤエポック製品をお買い上げ頂きまして、ありがとうございます。

■安全に正しくお使い頂くために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。

■本書の裏表紙に品質保証書があります。紛失しないように保管して下さい。

■本書に記載しているイラストはイメージ図です。

品質保証書付き

品質保証書

この度は、ミヤエポック製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。この製品は当社の厳密な検査に合格したものです。お客様の正常なご使用のもとで、万一ご購入日より一年以内に故障が生じた場合は、本品質保証書を提示いただければ右記規定により修理させていただきます。

品　名	☐ AC-3JPC(12V)
	☐ AC-3JP(12V)
	☐ AC-3JP(24V)
製造No.	製造No.シールを貼って下さい

ご購入年月日　　年　　月　　日

ご愛用者様　住所・氏名・TEL・年齢

住所 TEL	
氏名	年齢

ご購入店名

株式会社 ミヤエ

キリトリ線

お客様控え

この控えは、お客様で大切に保管してください。

品　名	☐ AC-3JPC(12V)
	☐ AC-3JP(12V)
	☐ AC-3JP(24V)
製造No.	製造No.シールを貼って下さい

ご購入年月日　　年　　月　　日

ご購入店名

保証規定

●保証期間　ご購入日より(1年間)
●免 責 額　2,000円
●保証範囲　故障の原因が下記の場合は有償となります。
①乱用または、使用方法の誤りによるもの。
②天災、火災、地変等によるもの。
③ショックまたは、加圧、ならびに保管上の不備によるもの。
●修理品の送料はお客様にてご負担願います。
●本製品の保証修理以外は補償致しかねます。

保証書の取り扱い

●お客様にご迷惑をお掛けしないために、ご購入年月日、ご愛用者様の住所、氏名、ご購入店名は必ずご記入下さい。
※ご購入年月日、ご購入店名につきましては、ご購入店様にて記入して頂きますようお願い致します。
●保証修理の際は必ず左の品質保証書を添付の上、お申しつけ下さい。ご提示のない場合は有償となります。

ご注意

ミヤエポック製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り(廃番)後、7年とさせて頂きます。7年以上経過した機種につきましては、修理が出来ません。リサイクルショップで中古品を購入される場合等、特にご注意下さい。製造打ち切り(廃番)情報は、下記URLか、ミヤエポック部・アフターサービスにお問い合わせ下さい。

アフターサービスのお問い合わせ

修理品については不具合個所を明記の上、
下記までお送り下さい。

株式会社 ミヤエ
ミヤエポック部アフターサービス
〒577-0023　大阪府東大阪市荒本1-2-32
TEL（06）7637-0119
FAX（06）7637-0245

製造発売元 株式会社 ミヤエ
■ミヤエポック部 〒577-0023 大阪府東大阪市荒本1-2-32 TEL(06)6782-1010
■東 京 営 業 所 〒144-0051 東京都大田区西蒲田5-27-5 TEL(03)3731-7100
http://www.miyaepoch.jp

もくじ

はじめに

次のものが入っていますか？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
仕様・機能・制御・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
各部の名前・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5 ～ 6
電源を接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7 ～ 8
釣り糸の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9～10

基本操作

釣り糸を出す方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11～12
釣り糸を巻き取る方法・ドラグの調整・・・・・・・・・・・・・・・13
モータードラグ力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
船べり停止機能・釣力コントロール機能・・・・・・・・・・・・・15
深さ記憶機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

新機能

オートシャクリ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17～20
コマセ巻き上げ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21～24

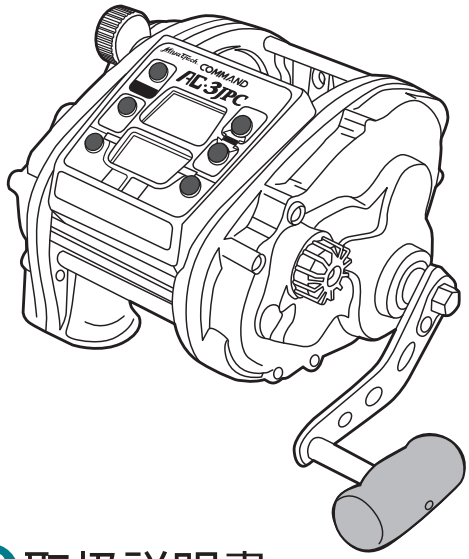
困った時に・保証など

おかしいな？と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・25～26
分解図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27～28
アフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
電動リールのお手入れについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
品質保証書・保証規定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・裏 表 紙

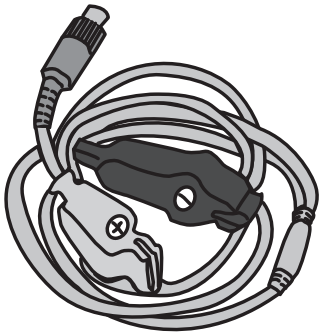
次のものが入っていますか？

箱の中には次のものが入っています。万一不足のものがありましたら、
ミヤマエ・ミヤエポック部（TEL：06-6782-1010）までご連絡下さい。

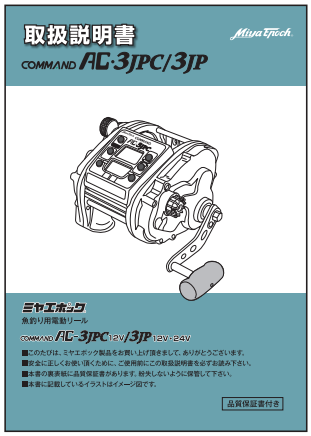
❶電動リール本体



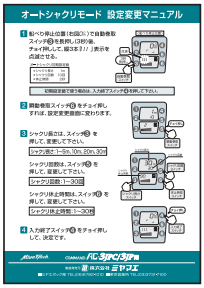
❷電源コード（3m）



❸取扱説明書
（品質保証書付き）



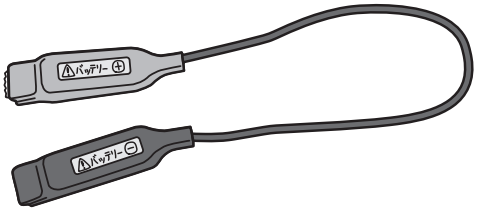
❹設定変更マニュアル



❺製造No.シール

❻リールグリース

❼直列用コード
（24V仕様のみ）



安全上のご注意

●ここに記した内容は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
●表示の注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示し、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次のように表示しています。

禁止・警告・注意の意味

禁止	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危害が、切迫して生じることが想定される内容を示します。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが、想定される内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

電源に関するご注意

禁止　電源コードの改造はしないで下さい。

警告　電動リールの電源は正しい指定電圧でご使用下さい。
本機はDC(直流)12Vあるいは24V仕様です。AC(交流)100Vや200V等に接続しますと焼損したり、使用不可能となります。

注意　電源コードはご使用前に必ず点検して下さい。
長くご使用されている間に断線やショート(短絡)している場合があります。断線の場合、魚釣りが出来ませんし、ショートしている場合は、釣り船の配線が焼けたり、バッテリーが故障または焼損する恐れがあります。

注意　電動リールに正しく電源コードを接続しても、作動または液晶画面が表示しない場合は、直ちに電源コードを外して下さい。そのままにしますと故障や焼損の原因となります。

電動リール使用上のご注意

禁止　電動リールを魚釣り以外の目的に使用しないで下さい。

禁止　電動リールを分解・改造しないで下さい。

警告　スプールが回転している時は、回転部分に触れないで下さい。
ケガをする恐れがあります。

警告　釣り糸を通すガイドホルダーに指を近づけて魚釣りをしないで下さい。
指を挟まれてケガをする恐れがあります。

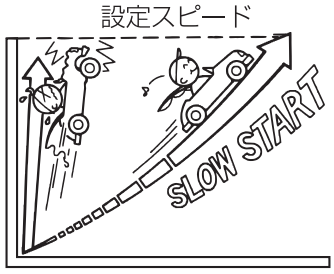
COMMAND AC·3JPC 12V/3JP 12V・24V 仕様

品番	COMMAND AC·3JPC	COMMAND AC·3JP	
電源	DC-12V	DC-12V	DC-24V
最大糸巻量(PE) ミヤNEWディープセンサー	PE 4号 900m PE 5号 800m PE 6号 700m PE 8号 550m PE 10号 450m PE 12号 350m	PE 4号 700m PE 5号 600m PE 6号 500m PE 8号 400m PE 10号 300m PE 12号 200m	
瞬間最大巻上力 (スプール最小径時)	539.0N (55kg)	421.4N (43kg)	490.0N (50kg)
持続巻上力	16kg	16kg	24kg
最大巻上速度 (無負荷・スプール最大径の時)	150m／分		
ドラグ耐力	196N(20kg)～392N(40kg)	196N(20kg)～294N(30kg)	
巻上方式	3ウェイ (電動・手巻・電動+手巻)		
消費電流	2.6A～15A	2.6A～15A	1.3A～12A
手巻きギヤ比	1:1.92		
機能・制御	釣力コントロール、自動巻取、瞬動巻取、超スロー巻き上げ、 オートクラッチ、オートシャクリ、コマセ巻き上げ、深さ記憶、 船べり停止、スロースタート、スローストップ、無段階変速、 ＋－逆接続防止、過負荷停止制御、 バッテリー電圧低下検出、過電圧検出		
液晶表示	釣力コントロール表示、メートル数・回転数表示、深さ記憶位置表示、 ドラグ力表示、スピード設定値表示、供給電圧モニター表示、電圧警告表示		
使用温度	－10℃～80℃		
ボールベアリング	10個		
リール自重	2.1kg		
付属品	電源コード(3m)、リールグリース、直列用コード(24V仕様のみ)		

※本仕様は、改良等のため予告なく変更する場合があります。

MADE IN JAPAN

機能・制御について



■スロースタート制御
自動巻取スイッチを押して放しますと、スピードコントロールで設定されている速度まで最低速度よりなめらかに始動します。

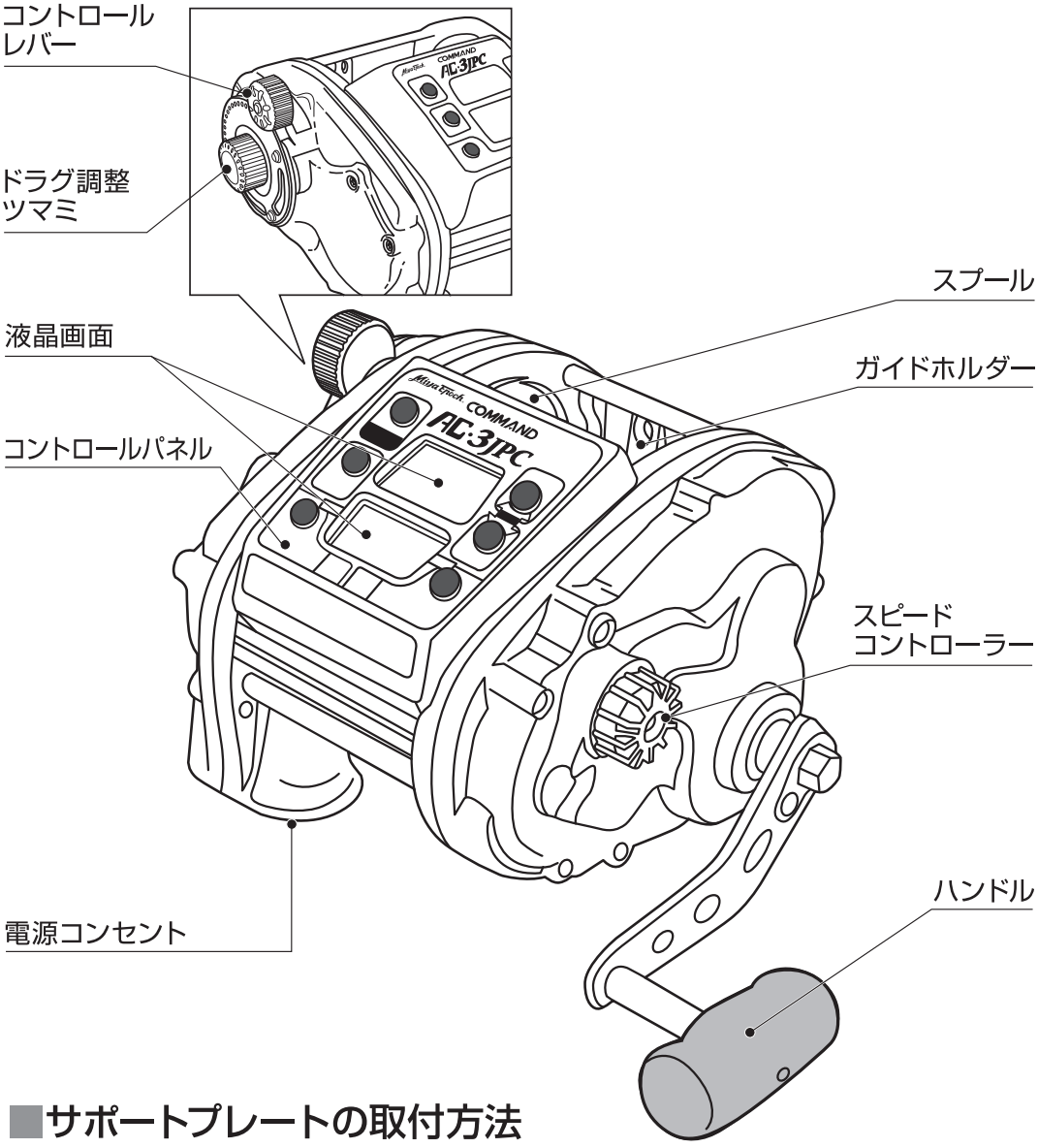
■スローストップ制御
自動巻取中、船べり停止の約1m手前から巻き取り速度を除々に減速し、なめらかに停止します。

■＋－逆接防止制御
電源を ⊕⊖ 逆に接続すると液晶画面が点灯せず、作動しません。

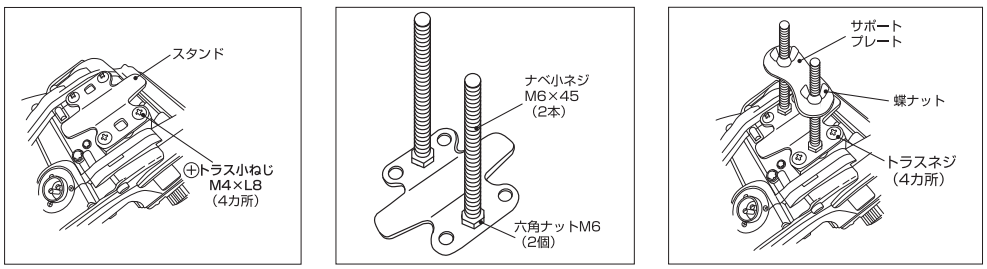
■過負荷停止制御
モーターに大きな負荷がかかり過ぎると、巻き取りを停止し、液晶が3秒点滅します。

各部の名前

COMMAND AC·3JPC 12V
COMMAND AC·3JP 12V・24V 本体各部の名前



■サポートプレートの取付方法



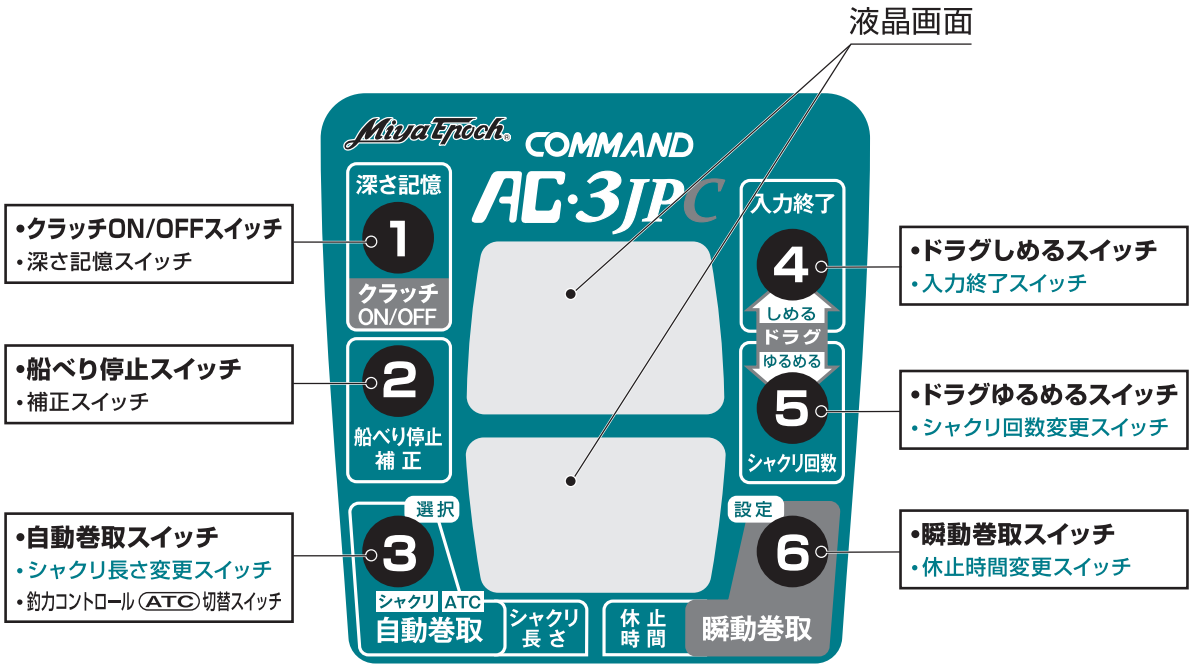
① トラスネジ（4カ所）を緩め、スタンドを外します。

② ナベ小ネジ2本と六角ナット2個で固定します。

③ ②をトラスネジ(4カ所)で本体に取り付けます。竿を取り付けてからサポートプレートを通し、蝶ナットでとめます。

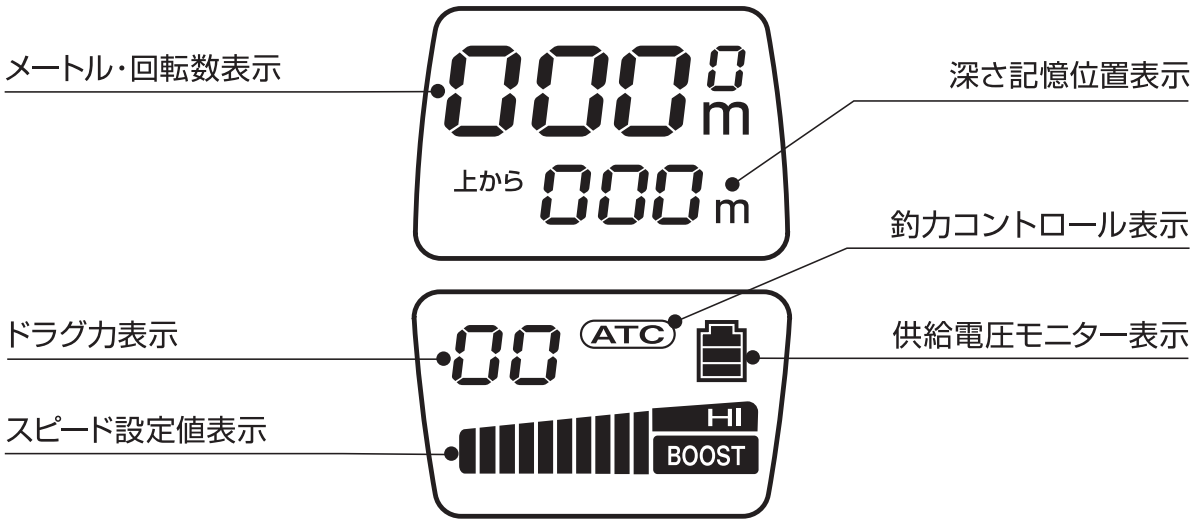
※トラスネジ（4カ所）は緩み止め加工を施してありますが、取り外しは5回位までとして下さい。

コントロールパネル各部の名前



＊数字はわかりやすくするためのものです。
実際のスイッチに数字はありません。

液晶画面の表示



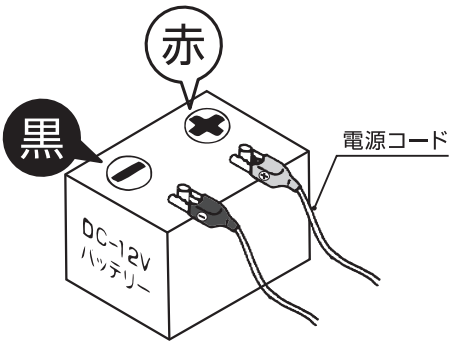
電源を接続する

1 DC-12V仕様の場合

電源コードをバッテリーに接続します。

バッテリーの⊕側に電源コードの⊕クリップ(赤)を挟み、⊖側に⊖クリップ(黒)を挟んで下さい。
(釣行の際は、バッテリーはなるべく海水のかからない安定した場所に置いて下さい)

DC-12V仕様の場合

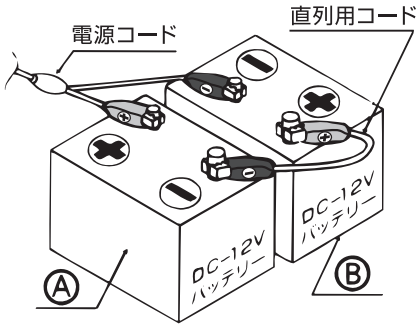


DC-24V仕様の場合

直列用コードと電源コードをバッテリー(DC-12V)2個に接続します。

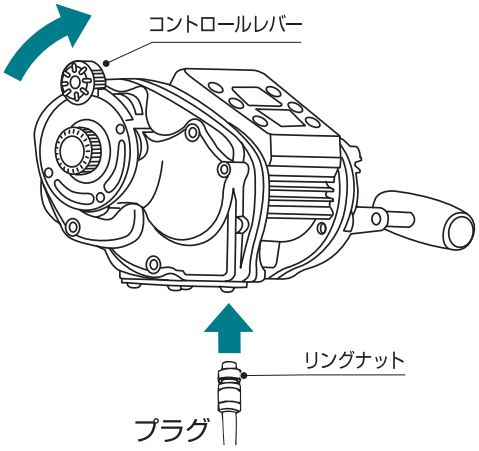
1. バッテリーⒶの⊖側に直列用コードの⊖クリップ(黒)を挟み、バッテリーⒷの⊕側に直列用コードの⊕クリップ(赤)を挟みます。
2. 電源コードの⊕クリップ(赤)をバッテリーⒶの⊕側に挟み、⊖クリップ(黒)をバッテリーⒷの⊖側に挟みます。

DC-24V仕様の場合

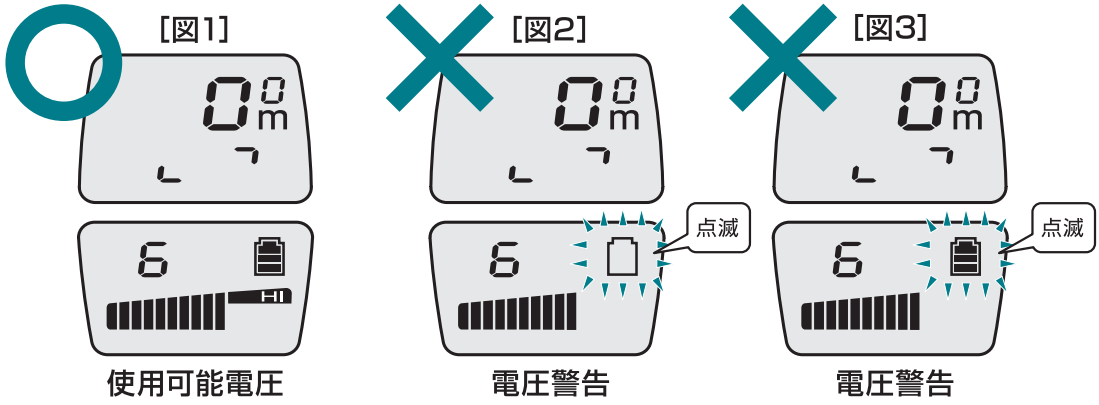


2 電源コードをリールに接続します。

リールのコントロールレバーを手前に引き、スプールをフリーの状態にします。
電源コードのプラグをリールの電源コンセントに接続して、リングナットを締め付け、しっかりと固定して下さい。



3 電源が正しく接続されますと液晶画面は
下の[図1]のように表示されます。



＊12V仕様は22.5V以上で [HI↔24]をくり返し表示します。
(一度電源を抜いて確認して下さい)
＊24V仕様は30.0V以上で、バッテリーマーク🔋の枠⬜が点滅します[図3]。

供給電圧レベル表示

■供給電圧をバッテリーマークで表示しています。

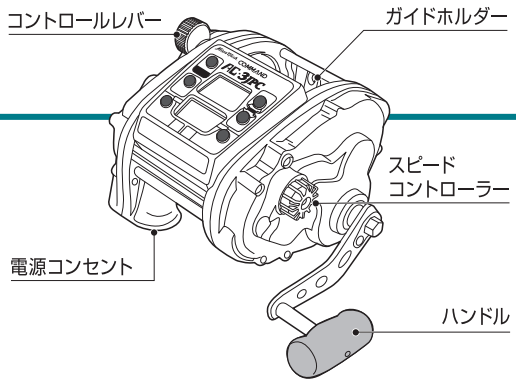
バッテリーマーク	12V仕様	24V仕様	
バー3本表示点滅	―	約30.0V以上	※電圧警告
バー3本表示	約12.0V以上	約24.0V以上	使用可能電圧
バー2本表示	約11.5V以上	約22.5V以上	
バー1本表示	約11.0V以上	約21.5V以上	
枠のみで点滅	約10.5V未満	約20.0V未満	※電圧警告

＊電圧警告 [図2] [図3]、もしくは [HI↔24]表示が出ている場合は、
「使用可能電圧」の範囲内でお使い下さい。ご使用になられている電源・環境により、バッテリーマーク表示と実際の電圧が一致しない場合があります。

⚠警告

本製品はDC-12V(および24V)専用仕様であり、使用可能電圧はDC-10.5V～13.8V(21.0V～26.0V)です。バッテリーマークがバー3本表示で点滅している時 [図3]は、供給電圧がDC-24V仕様で約30V以上と非常に高くなっています。またAC-100V、200V等を接続すると焼損して使用できなくなったり、事故の原因にもなりますので、接続しないで下さい。

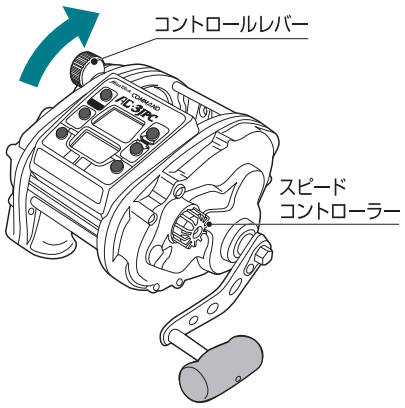
釣り糸の準備



1 釣り糸をガイドホルダーに通し、
スプール軸に2〜3回巻きつけて
スプールの糸止めに掛けて結びます。

2 電源を接続します。(P7〜8参照)

3 コントロールレバーを奥に押します。

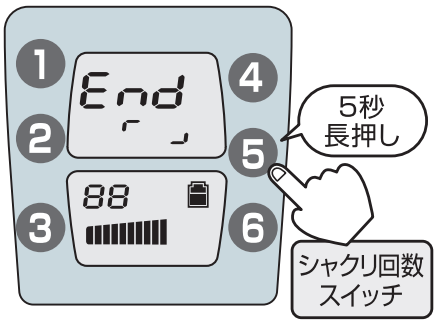


4 スイッチ❺を長押し(5秒)すると

CLr5 → CLr4 → CLr3 → CLr2 → CLr1 → End

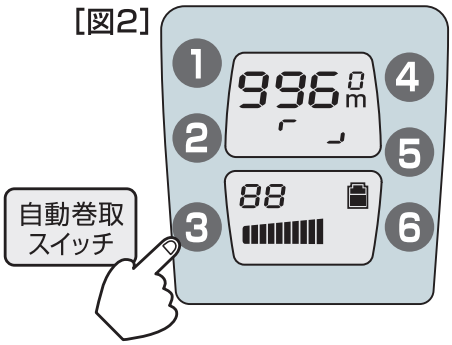
のように表示されますので、
End で放して下さい。[図1]
その後、ハンドルで釣り糸を表示が
996m になるまで巻いて下さい。

[図1]



5 釣り糸に適度な負荷を掛け、
スイッチ❸を押し、巻き取りをして
下さい。[図2]
巻き取りスピードはスピードコント
ローラーにより任意のスピードが
設定できます。

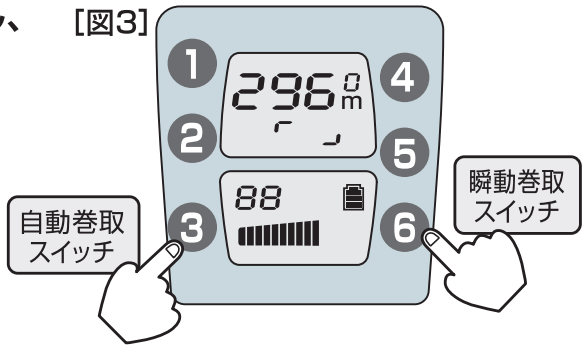
[図2]



6 巻き取る釣り糸が残り少なくなれば、
スイッチ❸を押して巻き取りをストップし、
スイッチ❻か、ハンドルで残りを巻き
取って下さい。[図3]

＊巻き込み防止のためハンドルでの
巻き取りをおすすめします。

[図3]



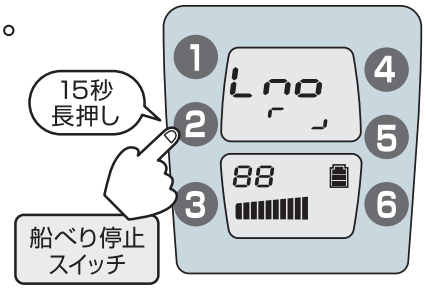
⚠注意 釣り糸はスプール径を
超えないように巻いて下さい。

7 スイッチ❷を長押し(15秒)して下さい。

296m →0m→5 0m→4 0m→3 0m
└2 0m→1 0m→Lno

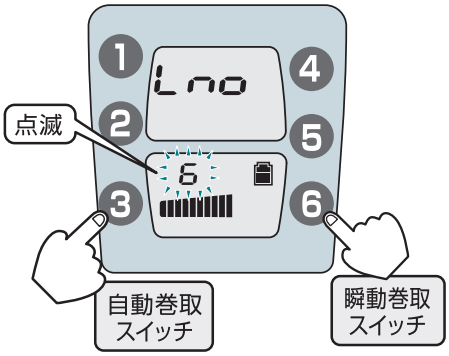
点滅

Lnoで放して下さい。
釣り糸の号数設定画面に変わります。



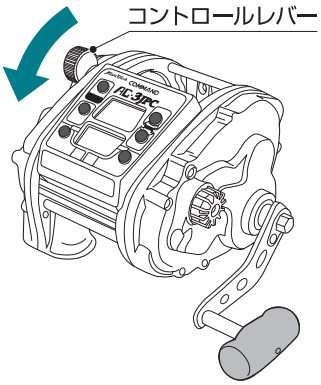
8 スイッチ❸を押し、釣り糸の号数を選択して下さい。

→4→5→6→8→10→12→
選択スイッチ（自動巻取スイッチ）



9 スイッチ❻を押して決定して下さい。

10 コントロールレバーを手前に引き、スプールをフリーにし、釣り糸を手で少し引き出し、カウンター表示を確認して下さい。



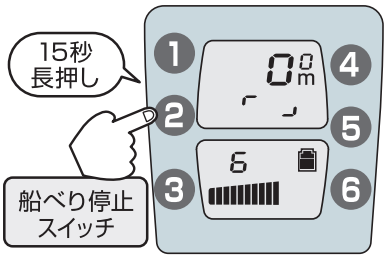
釣り糸の準備完了です

釣り糸の号数変更

1 船べり停止時に、スイッチ❷を長押し（15秒）して下さい。

0m →0m→5 0m→4 0m→3 0m
└2 0m→1 0m→Lno

点滅

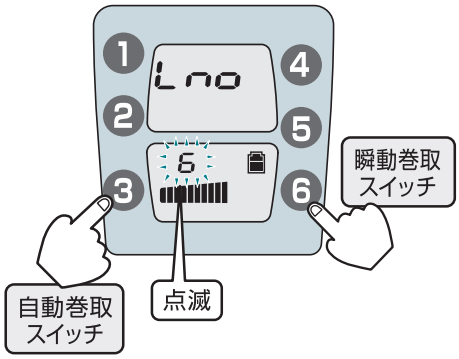


2 スイッチ❸で釣り糸の号数を選択して下さい。

→4→5→6→8→10→12→
選択スイッチ（自動巻取スイッチ）

3 スイッチ❻を押して決定して下さい。

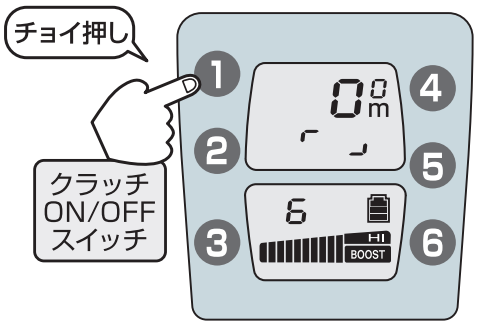
釣り糸の号数と号数設定が合っていない場合、メートル表示と実際の長さに誤差が生じますので特にご注意下さい。



釣り糸を出す方法

本機種はドラグモーターによるドラグの駆動を可能としており、スイッチ操作ひとつでスプールのフリーとロックを切り替えることができます。操作性が非常に良いため、ぜひこの「オートクラッチ機能」をおためし下さい。

オートクラッチ機能で釣り糸を出す方法

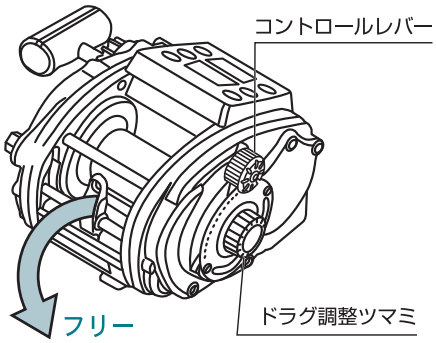


●コントロールレバーがフリー(いちばん手前)の位置にある時、クラッチON/OFFスイッチ❶を押すことでスプールのフリーとロックを切り替えることができます。

1 釣り糸がガイドホルダーに通っているか確認して下さい。

2 クラッチON/OFFスイッチ❶を押すとドラグが締まります。

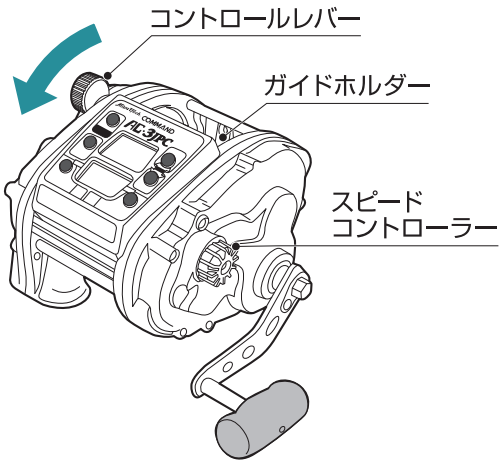
3 もう一度、クラッチON/OFFスイッチ❶を押すとドラグが緩みスプールがフリーになります。



コントロールレバーがフリーの位置でないと動作しません

＊オートクラッチ機能では、ユーザー設定ドラグ力までドラグを締めます。(P14参照)
このときユーザー設定ドラグ力が極端に弱い場合や、魚がかかっている場合など、糸を引き出す力が大きいときは、スプールが滑ります。
＊ドラグ調整ツマミを締めすぎている場合など、コントロールレバーをいちばん手前にしてもフリーにならない場合は、クラッチON/OFFスイッチでもスプールはフリーになりません。

コントロールレバーで釣り糸を出す方法



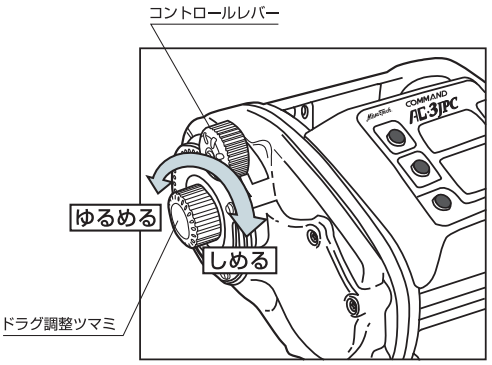
1 釣り糸がガイドホルダーに通っているか確認して下さい。

2 コントロールレバーを手前に引きますとスプールがフリーになり、釣り糸が出るようになります。

バックラッシュを防止するには

ドラグ調整ツマミを回してスプールにブレーキを掛けながら釣り糸を出して下さい。

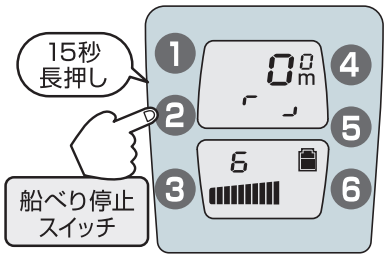
＊AC-3JPC/3JPのドラグは非常になめらかなため、ドラグ調整ツマミを少し締めつけることによってスプールブレーキとして使用することができます。



釣り糸の補正

次の場合、補正スイッチ❷を押して船べり停止位置を補正して下さい。

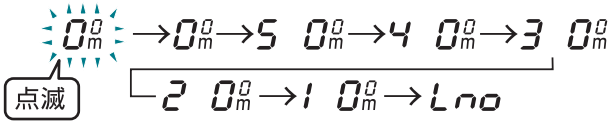
●糸切れ補正　糸が切れたり、傷んだ部分を切り取った時
●糸継ぎ足し補正　糸を継ぎ足したとき。
※必ず同じ号数の糸を足して下さい。
●巻き締まり補正　巻き上げを繰り返すうちに船べり停止位置が巻き足らずになった時。



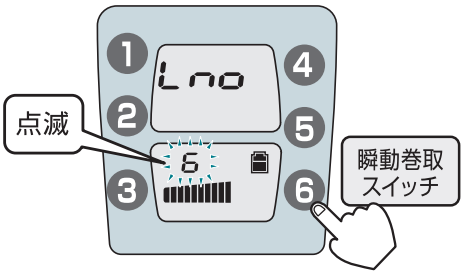
1 釣り糸を船べり停止したい位置にあわせます。

＊釣り糸を継ぎ足す場合は、結んでから電源を入れ、巻き取ってから行います。

2 補正スイッチ❷を長押し(15秒)して下さい。



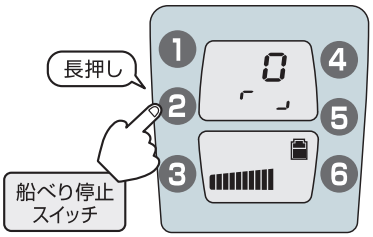
Lnoで放して下さい。
釣り糸の号数設定画面に変わります。



3 号数が点滅しますので、スイッチ❻を押して決定して下さい。

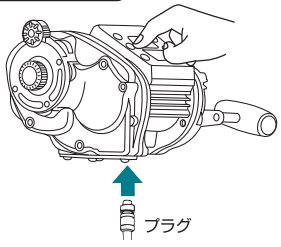
回転数表示への切り替え

ナイロン等、PEライン以外の釣り糸を巻いた際にお使い下さい。

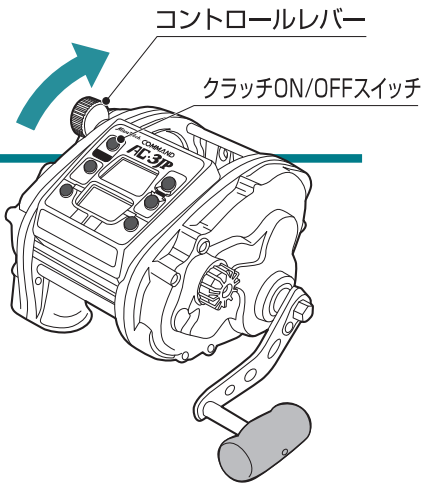


■船べり停止スイッチ❷を押しながら、電源を接続すると回転数表示となります。
(m が消えます)

＊回転数表示は、スプールが10回転で1カウントします。



釣り糸を巻き取る方法



釣り糸を巻き取るにはクラッチON/OFFスイッチでドラグを締めるか、コントロールレバーを奥に押し、以下の方法で行います。

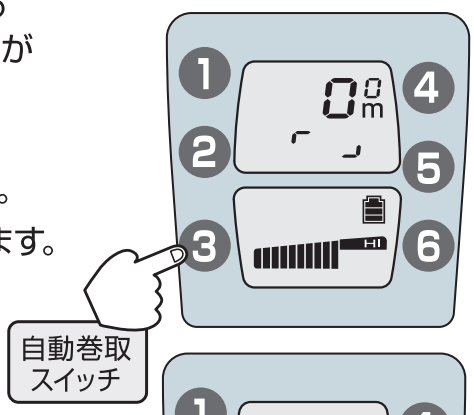
■自動巻取スイッチ❸を押す。

＊コントロールレバーが手前(フリー)で糸を出している時でも、自動巻取スイッチを押して放すと、クラッチが自動でつながり自動巻取を行います。

＊スイッチを押して放すと、投入した仕掛けを設定されているスピードで船べり停止位置0mまで巻き取ります。

＊自動巻取中に再度スイッチを押すと巻き取りが停止します。

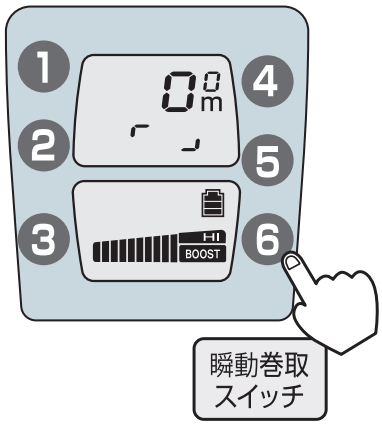
＊液晶画面のカウンターが0mの時は巻き込み防止のためモーターは作動しません。



■瞬動巻取スイッチ❻を押す。

＊スイッチを押している間、モーターが回転し、放すと停止します。糸フケを取る時や、少しだけ巻き取りたい時にお使い下さい。

＊瞬動巻取についても、コントロールレバーが手前(フリー)で糸を出している時に瞬動巻取スイッチを押すとクラッチが自動でつながります。



ドラグの調整

ドラグの使い方

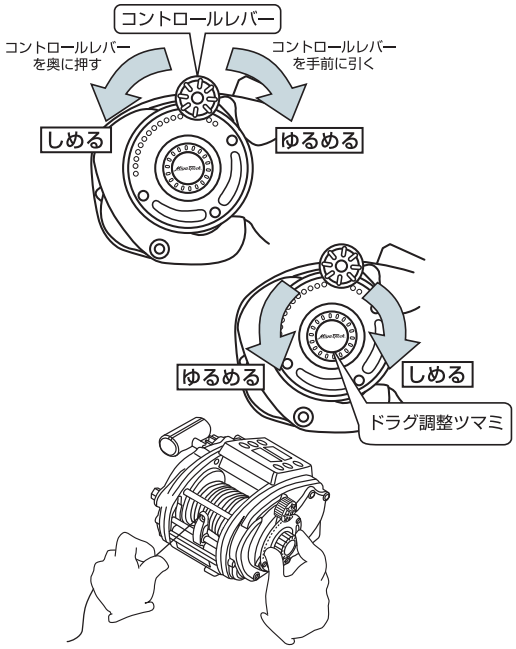
コントロールレバーを手前に引けばドラグが緩みスプールがフリーになります。奥に押せばドラグが締まります。

ドラグ調整の仕方

コントロールレバーを任意の位置に決め、ドラグ調整ツマミを回してドラグ力を調整して下さい。
(バックラッシュ防止時は、ツマミを締めて調整して下さい)

ヒット中のドラグ調整

魚がかかった際は、コントロールレバーを前後させることでドラグの調整ができます。また、コントロールレバーを動かさないでドラグ調整ツマミにより、ドラグの微調整を行うことができます。

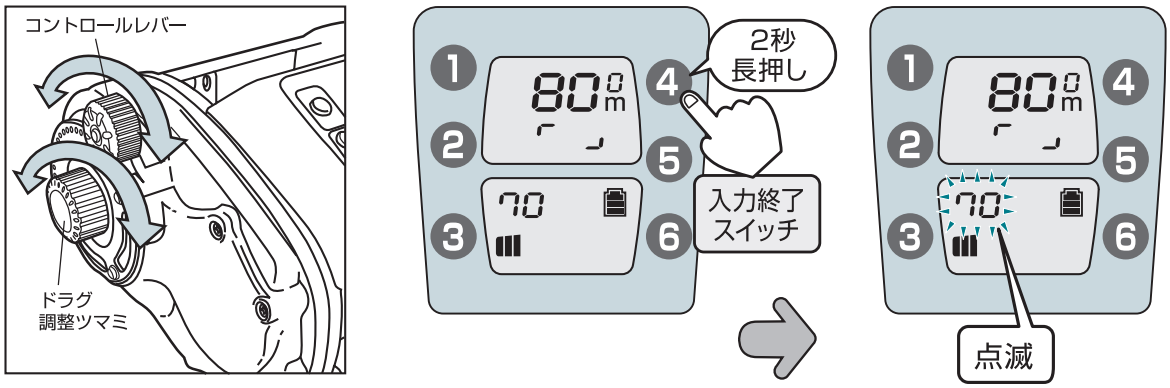


モータードラグ力

■ユーザー設定ドラグ力

AC-3JPC/3JPは、ドラグモーターでドラグを駆動する
ことができます。初期ドラグ力は70となっています。

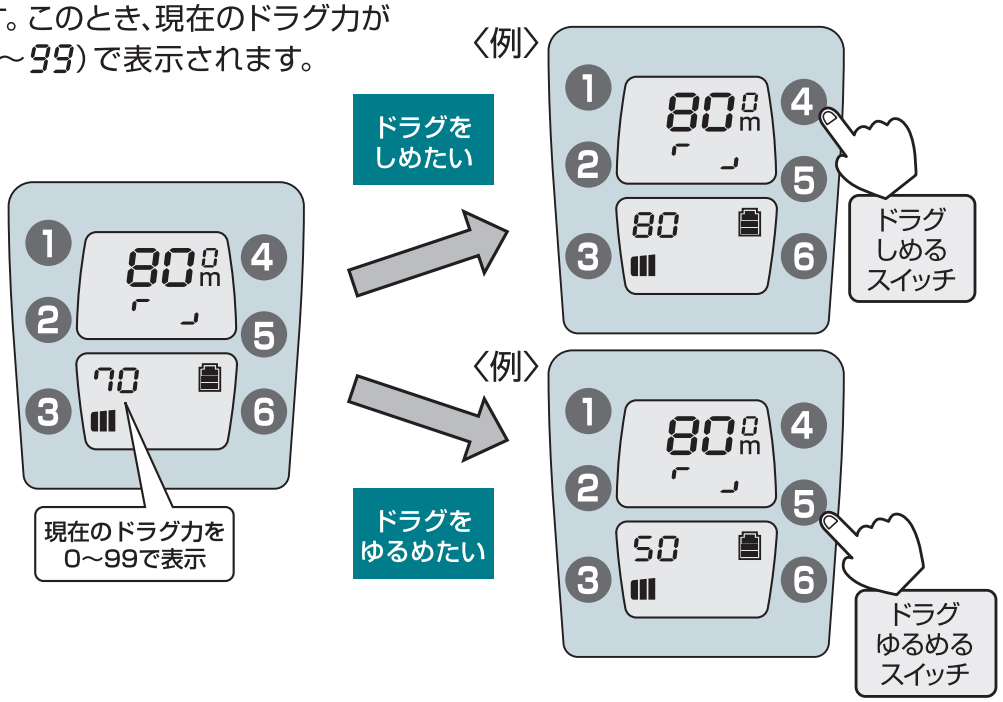
①コントロールレバーとドラグ調整ツマミを使用して最適なドラグ力を
　設定して下さい。その際に、現在のドラグ力が数字(0～99)で表示されます。
②お客様の最適なドラグ力の状態で、入力終了スイッチ④を2秒間押すと
　数字(0～99)が点滅します。
③点滅が終われば、設定完了です。コントロールレバーをフリーにして下さい。
　*ユーザー設定ドラグ力を保持する場合はドラグ調整ツマミを動かさないで下さい。



■モーターでドラグ力を調整

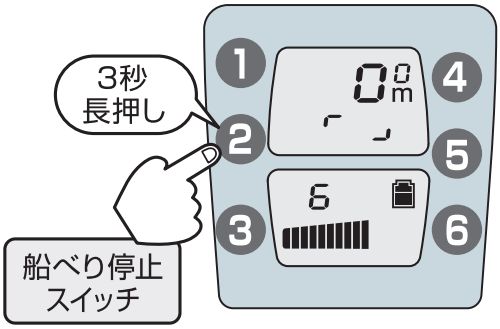
AC-3JPC/3JPは、ドラグモーターでドラグを駆動することができます。

コントロールレバーがフリーの位置にあり、クラッチが
ON(ドラグが締まっている)のとき、ドラグ[しめる]スイッチで
ドラグを締め、ドラグ[ゆるめる]スイッチでドラグを緩めることが
出来ます。このとき、現在のドラグ力が
数字(0～99)で表示されます。



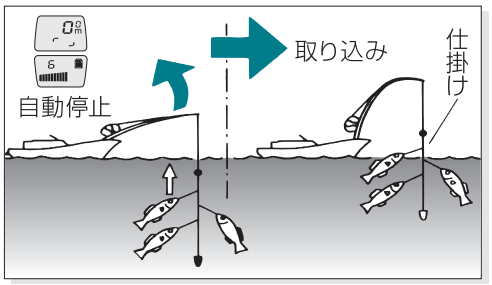
船べり停止機能

船べり停止とは0mに設定した位置まで釣り糸を巻き上げた際に自動で停止する機能です。



■船べり停止位置の設定方法

魚の取り込み、エサの取り替え、仕掛けの取り込みに適した位置で、船べり停止スイッチ❷を長押し(3秒)して下さい。液晶画面のカウンター数値が点滅後0mに切り替り、次回の巻き上げ時はこの位置で自動停止します。



船べり停止位置は釣り糸の伸縮、獲物の引きなどによって多少異なることがあります。その場合は再度停止位置を決めて、船べり停止スイッチ❷を押して下さい。

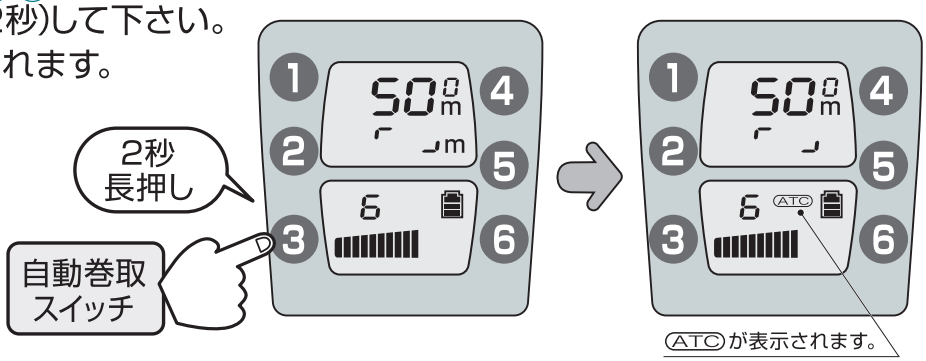
釣力コントロール(ATC)機能PAT.

釣力コントロール AUTO TENSION CONTROL=(ATC)機能PAT.とは

ヒットした魚の引きに対応して、コンピューターが巻き上げ速度を自動的にコントロールします。
「引きが強くなれば、巻き上げ速度が遅く」なり、「引きが弱くなれば、巻き上げ速度が速く」なります。
また、無駄に電流を流さないのでバッテリーへの負担が軽減し、モーターの長寿命化を実現しております。
[釣力コントロール機能PAT.]に加え、スピードコントローラーを操作することで、より繊細なやり取りを可能とし、キャッチ率を高めます。

■釣力コントロール機能の設定方法

カウンター数値が0m以外の時に自動巻取スイッチ❸を長押し(2秒)して下さい。
液晶に(ATC)が表示されます。



＊本機種では「オートシャクリ」「コマセ巻き上げ」の設定を船べり停止位置で行なうため、船べり停止位置では釣力コントロールモードに切り替えできません。ご注意下さい。

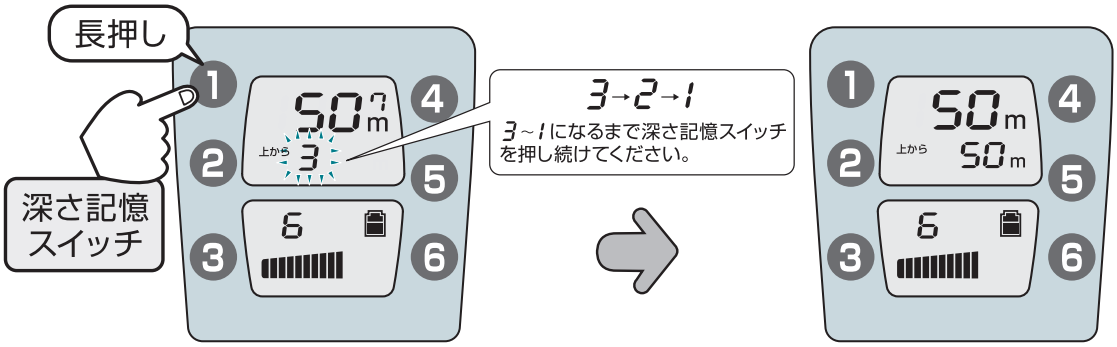
深さ記憶機能

深さ記憶とは、任意のメートル数もしくは回転数の位置を記憶させ、次回投入時にその位置で釣り糸の出を止める機能です。

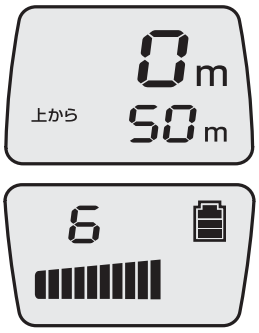
■深さ記憶の設定方法

コントロールレバーがフリーの位置でないと動作しません

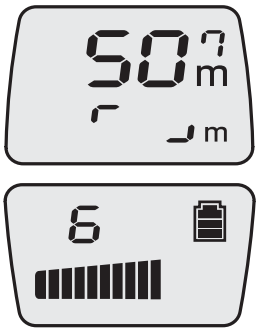
オートクラッチ使用時、記憶させたいタナで深さ記憶スイッチ❶を長押し(3秒)すると、その深さを記憶し、液晶に[図1]のように表示します。次回投入時からは記憶した深さ(タナ)で自動的にオートクラッチがONになり、釣り糸の出が止まります。
変更する場合は、変更したいタナで再度スイッチを長押し(3秒)して下さい。
記憶を解除する場合は、船べり停止位置[図2]で深さ記憶スイッチ❶を長押し(3秒)で液晶のタナ表示が消え記憶を解除します[図3]



[図1] 深さ記憶



[図2] 船べり停止位置



[図3] 記憶解除状態

深さ記憶で停止するときは、魚がかかった場合に対応するため常にドラグが効いている状態で停止します。

ドラグが有効のため、ユーザー設定ドラグ力(P14参照)での設定が極端に弱い場合や、糸を繰り出す力が大きいときには、深さ記憶で停止できない場合があります。

新機能オートシャクリ

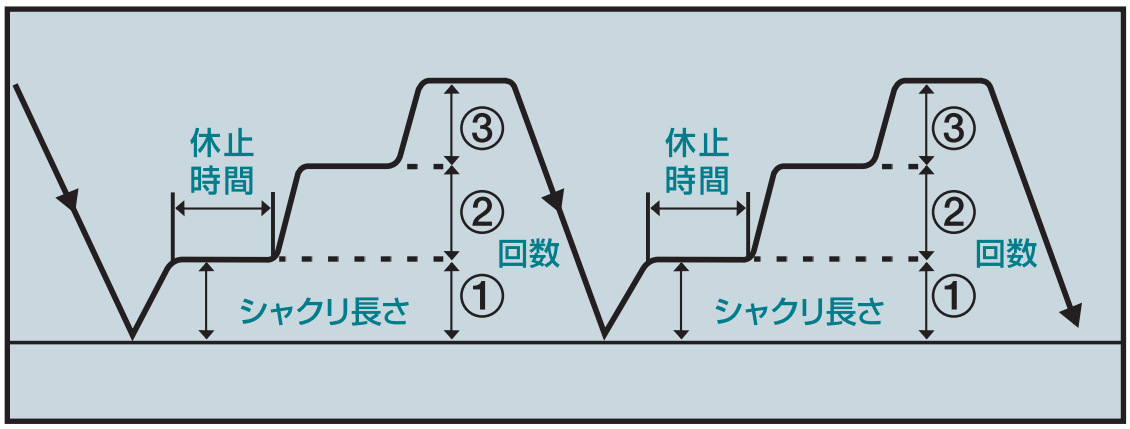
オートシャクリとは魚に誘いをかける機能です。

本機種では、「オートクラッチ」に、「シャクリ機能」を連動させることで、自動制御による連続した誘いを可能にしました。
これが「オートシャクリ機能」です。シャクリの[長さ][休止時間][回数]を自由に設定することが可能で、名前(JIGGING PRO)の由来ともなったジギングやエビングに威力を発揮します。
すでに初期設定が入力済みですので、まずは一度「オートシャクリ機能」をお試しください。

■オートシャクリの有用性

ジグなどの仕掛けをシャクリ上げては、任意の深さ(タナ)まで下し、再びシャクリ上げては下すをくり返します。ジギングやエビングなど、一日中シャクリ動作をくり返す釣りにおいて、電動リールが自動制御でシャクリをくり返してくれますので、体力に関係なく、誰もが楽しめます。また、ヒット時は、自動巻取スイッチを押すだけで自動的にオートクラッチがONおよび自動巻取開始となり、船べりまで巻き上げてくれます。

シャクリイメージ

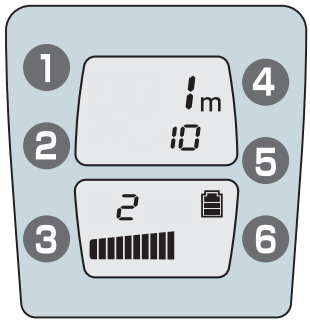


■初期設定は下記内容となっています。

オートシャクリ初期設定値

＊シャクリ長さ	1m
＊シャクリ回数	10回
＊休止時間	2秒

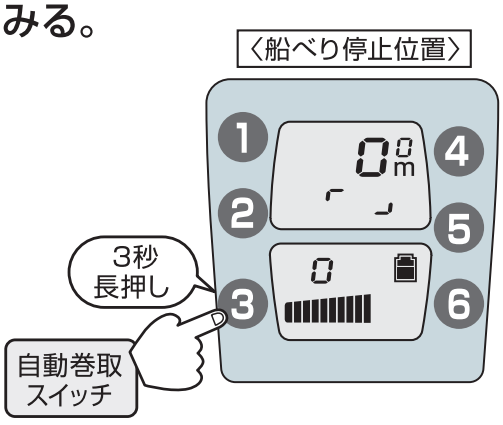
＊初期設定で使用する場合もオートシャクリモードへの設定(下記)を行なって下さい。



■初期設定でオートシャクリを使ってみる。(オートシャクリモードへの変更)

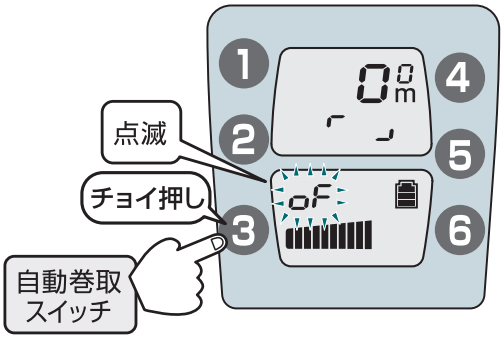
1 船べり停止位置(右図 0m)で自動巻取スイッチ❸を長押し(3秒)して下さい。

＊本機種では船べり停止位置による上記の操作で、釣力コントロール機能の設定は行なえません。(P15参照)



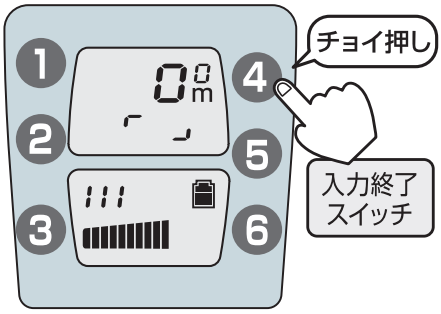
2 oF 表示(もしくは111か ΞΞ)の点滅が確認できたら、自動巻取スイッチ❸をチョイ押しして縦3本「111」表示にして下さい。

→ oF → 111 → ΞΞ →



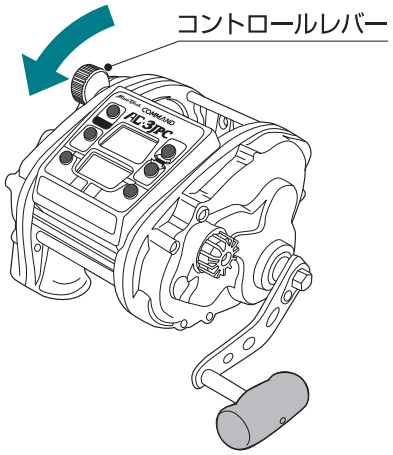
3 入力終了スイッチ❹をチョイ押しすると縦3本「111」表示の点滅は止まり、オートシャクリを使うことができます。

＊一度オートシャクリモードに設定すると変更しないかぎりは、電源を抜いてもモードは記憶されています。
(次回使用時もオートシャクリモードから使用することができます)



新機能オートシャクリ

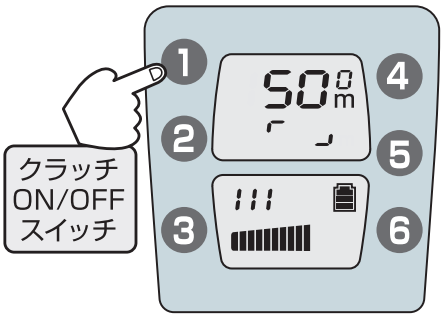
■実際の使い方



1 船べり停止位置で、オートシャクリ表示「111」が表示されているかを確認して下さい。

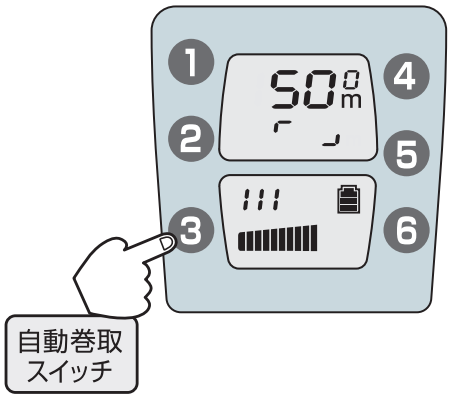
2 コントロールレバーが手前になっていることを確認し、クラッチON/OFFスイッチ❶をチョイ押しし、スプールをフリーにして、釣り糸を出します。

3 お好みの深さまで釣り糸がでれば、クラッチON/OFFスイッチ❶を押して釣り糸の出を止めて下さい。



4 次に自動巻取スイッチ❸をチョイ押しするとオートシャクリを開始します。

5 オートシャクリを1サイクル行うと、自動巻取スイッチ❸を押した深さまで釣り糸が出て、自動でシャクリ動作を繰り返します。



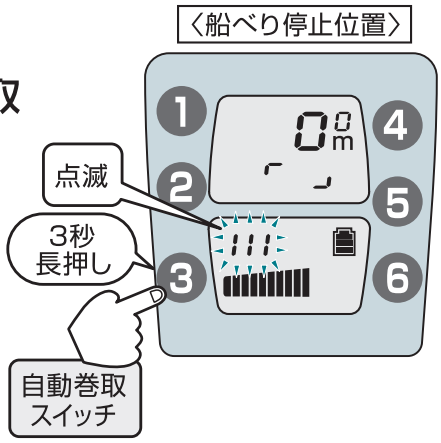
6 魚のヒット時や仕掛けの回収時は自動巻取スイッチ❸を再度チョイ押しすれば自動で船べり停止位置まで巻き上げます。

応用編

＊深さ記憶機能を使えば、魚を取り込み後、2回目以降の投入時に自動巻取スイッチ❸を押さなくても、自動で深さ記憶をした位置からシャクリ動作を繰り返します。
＊深さ記憶を解除したい時はコントロールレバーを奥に押すと解除できます。

■設定内容の変更

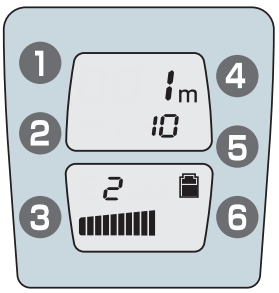
1 船べり停止位置（右図 0m）で自動巻取スイッチ❸を長押し（3秒）後、チョイ押しして縦3本「111」表示を点滅させる。

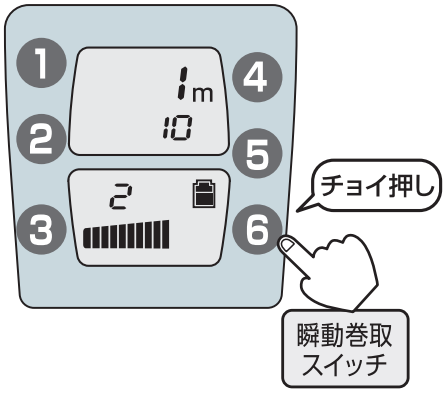


2 瞬動巻取スイッチ❻をチョイ押しすれば、設定変更画面に変わります。

オートシャクリ初期設定値

＊シャクリ長さ	1m
＊シャクリ回数	10回
＊休止時間	2秒





3 シャクリ長さは、スイッチ❸を押して、変更して下さい。

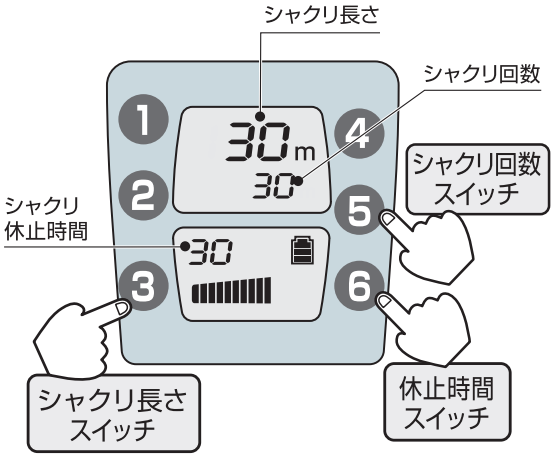
シャクリ長さ：1～5m、10m、20m、30m

シャクリ回数は、スイッチ❺を押して、変更して下さい。

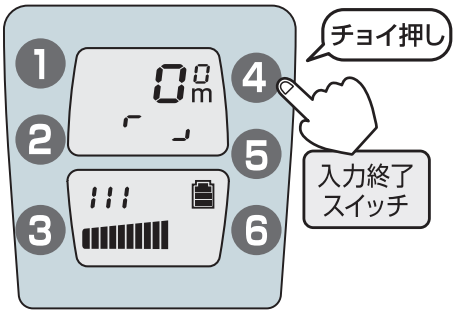
シャクリ回数：1～30回

シャクリ休止時間は、スイッチ❻を押して、変更して下さい。

シャクリ休止時間：1～30秒



4 入力終了スイッチ❹をチョイ押しして、決定です。

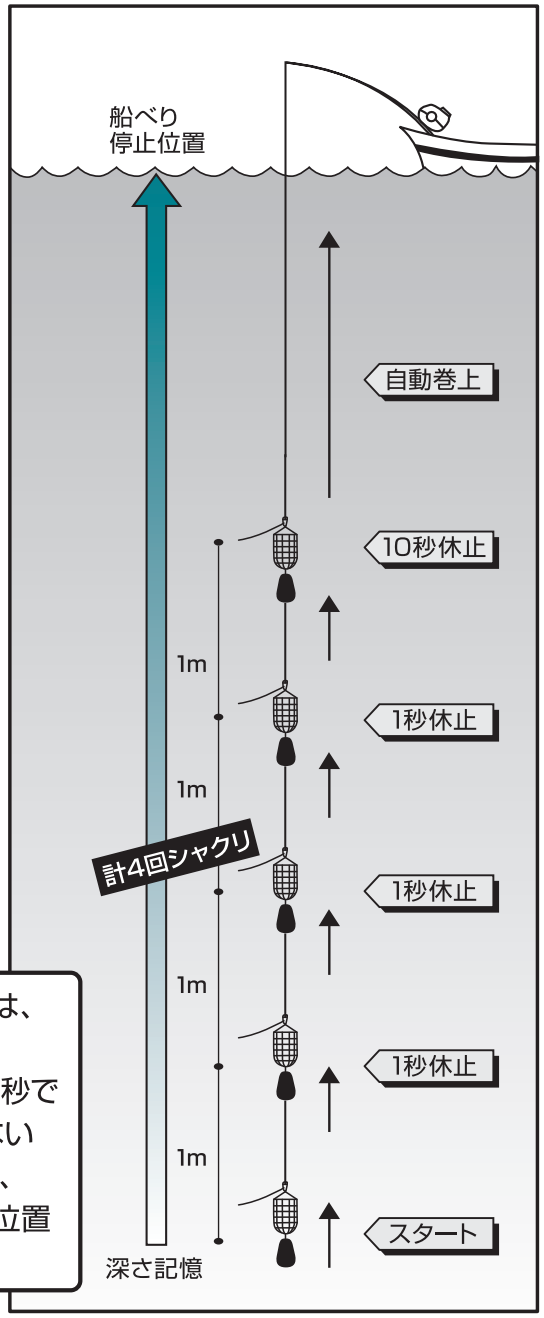


新機能コマセ巻き上げ

コマセ巻き上げとは、撒き餌の動作(マキエワーク)を自動制御し、釣り人の作業や負担を軽減する機能です。

本機種では、「深さ記憶」と「シャクリ機能」、そして「船べり停止」をワンセットの動作にまとめ、自動制御によるマキエワークを可能にしました。これが「コマセ巻き上げ機能」です。シャクリの[長さ][回数]、マキエワーク後の[休止時間]を自由に設定することが可能で、イサキやアジ、サバなどコマセを撒く釣りに大変便利な機能です。すでに最適な初期設定が入力済みですので、まずは一度「コマセ巻き上げ機能」をお試しください。
※基本設定は変更可能です。

■コマセ巻き上げ設定イメージ



こちらの設定例では、シャクリ長さ1m、シャクリ休止時間1秒で4回シャクリを行ない10秒休止したあと、自動で船べり停止位置まで巻き上げます。

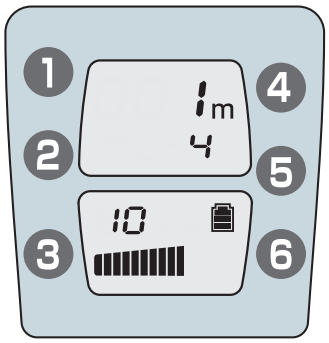
■コマセ巻き上げの有用性

深さ記憶機能で記憶させた任意の深さ(タナ)から、仕掛けをシャクリ上げ、コマセを撒き、一定時間停止後、船べりまで自動で巻き上げます。深さ記憶と連動することにより、自動でタナで停止し、コマセ巻き上げを開始します。
操作に慣れれば、複数台を使用して、手返しを大幅にアップできます。
また、マキエワークだけでなく、実際に魚を食わせることも可能で、釣果アップも期待できます。

■初期設定は下記内容となっています。

コマセ巻き上げ初期設定値

＊シャクリ長さ	1m
＊シャクリ回数	4回
＊マキエワーク後の休止時間	10秒



■初期設定でコマセ巻き上げを使ってみる。(コマセ巻き上げモードへの変更)

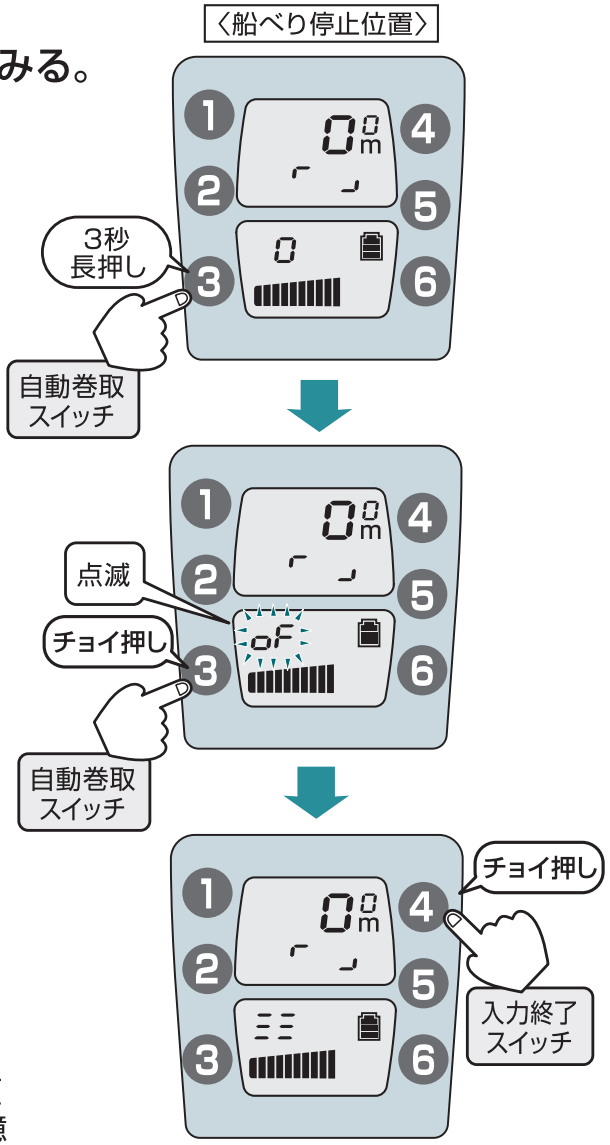
1 船べり停止位置で(右図 0m)自動巻取スイッチ❸を長押し(3秒)して下さい。

2 oF 表示(もしくは111か ニニ)の点滅が確認できたら、自動巻取スイッチ❸をチョイ押しして横3本「ニニ」表示にして下さい。

→ oF → 111 → ニニ →

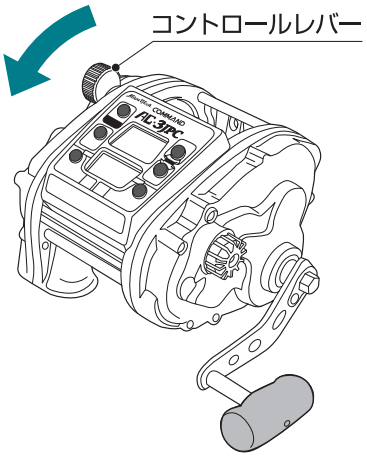
3 入力終了スイッチ❹をチョイ押しすると横3本「ニニ」表示の点滅は止まり、コマセ巻き上げを使うことができます。

＊一度コマセ巻き上げモードに設定すると変更しないかぎりは、電源を抜いてもモードは記憶されています。(次回使用時もコマセ巻き上げモードからスタートします)



新機能コマセ巻き上げ

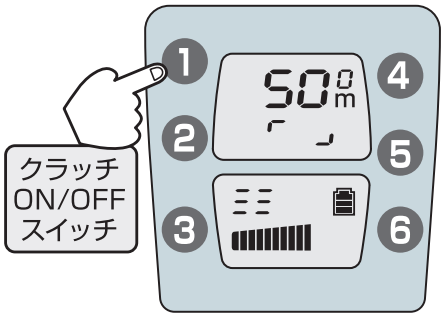
■実際の使い方



1 船べり停止位置で、コマセ巻き上げ表示「ニニ」が表示されているかを確認して下さい。

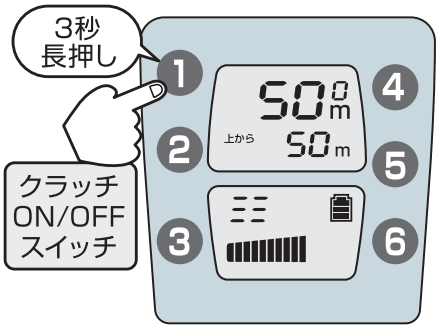
2 コントロールレバーが手前になっていることを確認し、クラッチON/OFFスイッチ❶をチョイ押しし、スプールをフリーにして、釣り糸を出します。

3 お好みの深さまで釣り糸がでれば、クラッチON/OFFスイッチ❶をチョイ押しして釣り糸の出を止めて下さい。



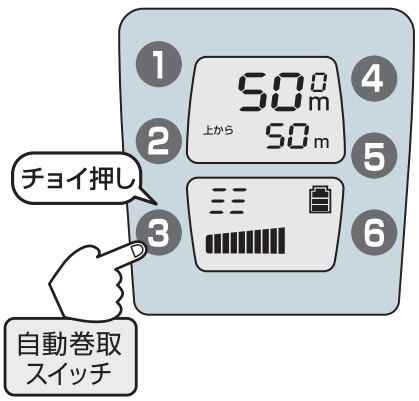
4 クラッチON/OFFスイッチ❶を長押し(3秒)して深さ記憶させて下さい。

＊クラッチON/OFFスイッチ❶は長押し(3秒)で深さ記憶設定スイッチとなります。



5 次に自動巻取スイッチ❸をチョイ押しするとコマセ巻き上げを開始します。

6 船べり停止位置までコマセ巻き上げを行なった後、仕掛けや魚の取り込みを行ないます。2回目以降は、クラッチON/OFFスイッチ❶を押し、釣り糸を出しますと設定した深さまで下り、自動的にコマセ巻き上げを行ないます。

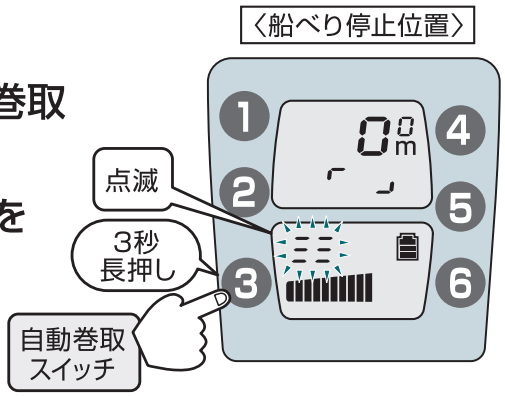


応用編

＊深さ記憶を解除したい時はコントロールレバーを奥に押すと解除できます。

■設定内容の変更

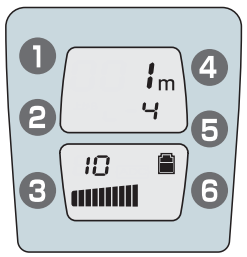
1 船べり停止位置(右図0m)で自動巻取スイッチ❸を長押し(3秒)後、チョイ押しして横3本「ニニ」表示を点滅させる。

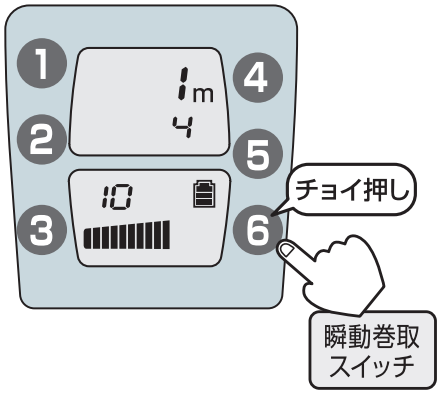


2 瞬動巻取スイッチ❻をチョイ押しすれば、設定変更画面に変わります。

コマセ巻き上げ初期設定値

＊シャクリ長さ	1m
＊シャクリ回数	4回
＊マキエワーク後の休止時間	10秒



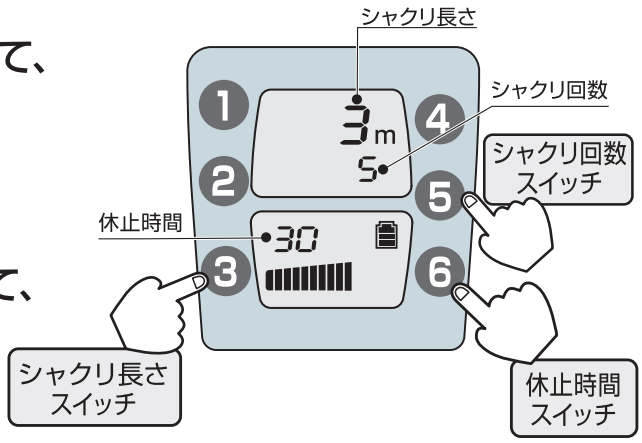


3 シャクリ長さは、スイッチ❸を押して、変更して下さい。

シャクリ長さ:1m、2m、3m

シャクリ回数はスイッチ❺を押して、変更して下さい。

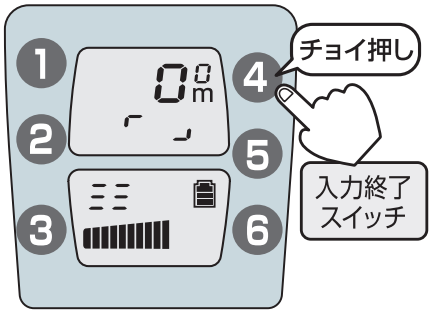
シャクリ回数:0~5回



マキエワーク後の休止時間は、スイッチ❻を押して、変更して下さい。

休止時間:1~5秒、10秒、20秒、30秒

4 入力終了スイッチ❹をチョイ押しして、決定です。



おかしいな?と思ったら

症状	原因と思われるもの	対策
電源が入らない	電源は正しく接続されて いますか。	クリップやプラグが外れて いませんか。確認して下さい。
	電源コードは破損して いませんか。	コードを新品と交換して下さい。
	バッテリーの電圧は 正常ですか。	電圧の確認をして下さい。 DC-12V=10.5V～13.8V DC-24V=21.0V～26.0V
自動巻取が動かない	0m 船べり停止位置に なっていませんか。	0m 船べり停止位置以外で自動巻取 スイッチを押して下さい。
釣力コントロール (ATC) にならない	0m 船べり停止位置に なっていませんか。	0m 船べり停止位置以外で自動 巻取スイッチを3秒長押しで、(ATC) が表示されONになります。
釣力コントロール (ATC) が切れない	0m 船べり停止位置に なっていませんか。	0m 船べり停止位置以外で自動 巻取スイッチを3秒長押しで、(ATC) が消えOFFになります。
オートクラッチが 動かない	コントロールレバーが 奥に入っていませんか。	コントロールレバーを手前に 引いて下さい。
表示画面が点滅する	リールが高温に なっていませんか。	冷却して点滅が終われば 使えます。

⚠注意 釣りを止める場合は、必ずクラッチON/OFFスイッチを押し、スプールをフリーの状態にして電源コードを抜いて下さい。オートクラッチがONの状態で電源を抜くと、ドラグが効いたままとなります。

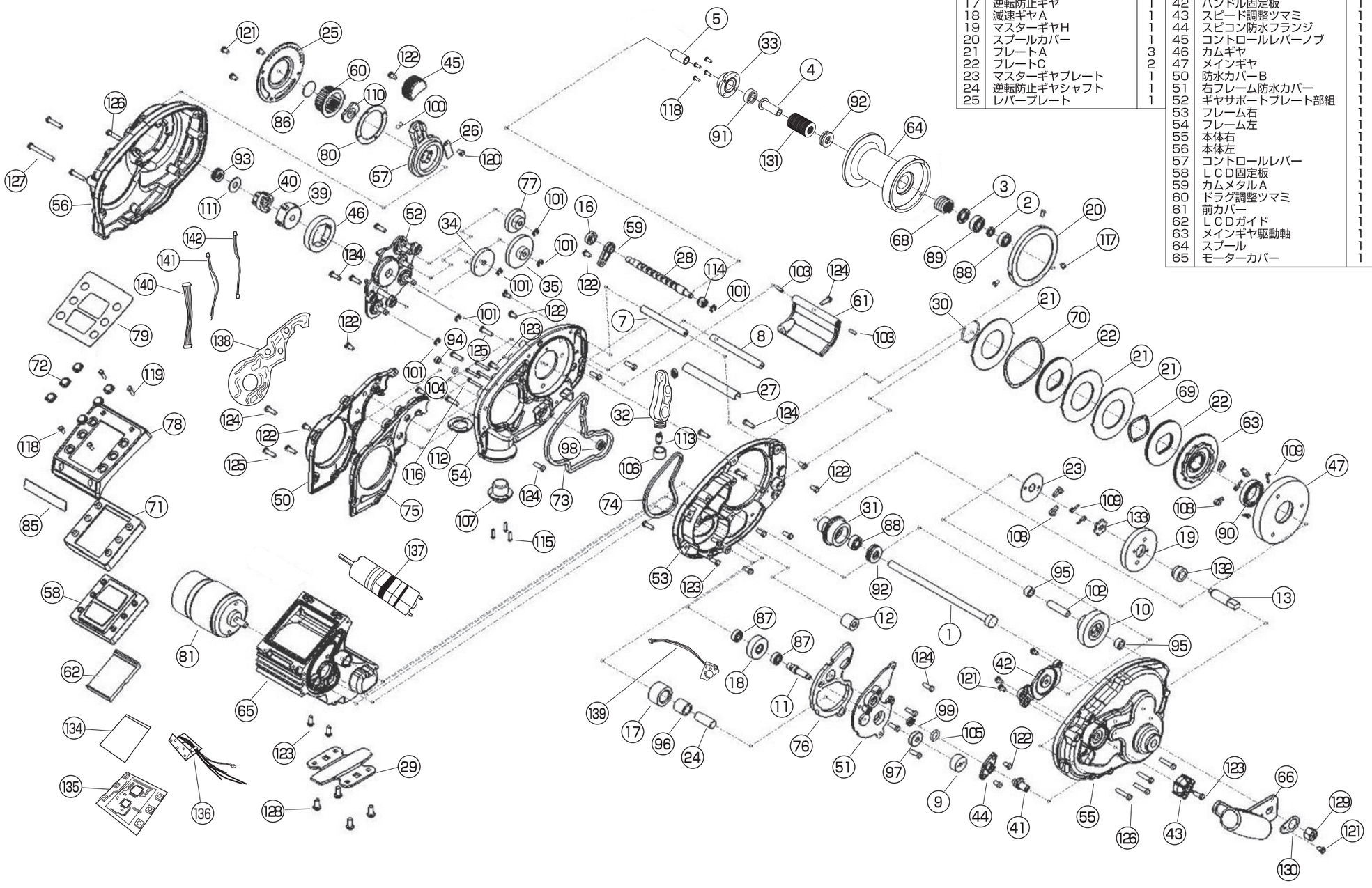
症状	原因と思われるもの	対策
メートル表示が正しくない	釣り糸にかかる負荷によって釣り糸の伸びが異なりますのでメートル表示に誤差が生じる場合があります。	メートル表示は、ミヤニューディープセンサー（当社指定PEライン）を使用した場合に正しく表示されるようになっています。それ以外の釣り糸を使用した場合は誤差が生じる場合があります。誤差の修正は糸の入力を再設定して下さい。
深さ記憶機能で止まらない	コントロールレバーが奥に入っていませんか。	コントロールレバーを手前に引いて下さい。
	深さ記憶を設定されていますか。	深さ記憶を設定して下さい。
オートシャクリにならない	コントロールレバーが奥に入っていませんか。	コントロールレバーを手前に引いて下さい。
コマセ巻き上げにならない	深さ記憶を設定されていますか。	深さ記憶を設定して下さい。
	コントロールレバーが奥に入っていませんか。	コントロールレバーを手前に引いて下さい。

★内容を確認しても、正常に戻らない場合、および他の故障が生じ修理が必要な場合は、お買い求めの販売店、または弊社アフターサービスにお問い合わせ下さい。

アフターサービスのお問い合わせ
株式会社 ミヤエ
ミヤエポック部アフターサービス
〒577-0023 大阪府東大阪市荒本1-2-32
TEL (06) 7637-0119 FAX (06) 7637-0245

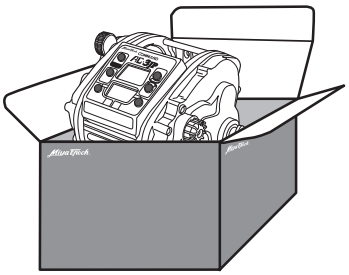
分　解　図

COMMAND AC·3JPC 12V/3JP 12V·24V



番号	部　品　名	数量
1	メインシャフト部組	1
2	ベアリングスペーサー	1
3	モドシバネガイド	1
4	サラバネガイド	1
5	スペーサー	1
7	ガイドバー	1
8	取り付けバー	1
9	減速ギヤB	1
10	ギヤCD部組	1
11	減速ギヤシャフト	1
12	ピニオンギヤ	1
13	マスターギヤ軸H	1
16	レベラインギヤD	1
17	逆転防止ギヤ	1
18	減速ギヤA	1
19	マスターギヤH	1
20	スプールカバー	1
21	プレートA	3
22	プレートC	2
23	マスターギヤプレート	1
24	逆転防止ギヤシャフト	1
25	レバープレート	1
26	クリックバネ	1
27	レベラインケース	1
28	トラバースカム	1
29	リールシート	1
30	ストッパーリング	1
31	マスターピニオン	1
32	ガイドホルダー	1
33	レベラインギヤA	1
34	レベラインギヤB	1
35	レベラインギヤC	1
39	クラッチカムA	1
40	クラッチカムB	1
41	シャフト	1
42	ハンドル固定板	1
43	スピード調整ツマミ	1
44	スピコン防水フランジ	1
45	コントロールレバーノブ	1
46	カムギヤ	1
47	メインギヤ	1
50	防水カバーB	1
51	右フレーム防水カバー	1
52	ギヤサポートプレート部組	1
53	フレーム右	1
54	フレーム左	1
55	本体右	1
56	本体左	1
57	コントロールレバー	1
58	ＬＣＤ固定板	1
59	カムメタルA	1
60	ドラグ調整ツマミ	1
61	前カバー	1
62	ＬＣＤガイド	1
63	メインギヤ駆動軸	1
64	スプール	1
65	モーターカバー	1
66	ハンドル部組	1
68	戻しばね（φ1.5）	1
69	ウエーブワッシャーA	1
70	ウエーブワッシャーB	1
71	パネルパッキン	1
72	スイッチゴム	6
73	防水ゴムA	1
74	防水ゴムB	1
75	防水ゴムC	1
76	防水ゴムD	1
77	スプールセンサーギヤ	1
78	コントロールパネル	1
79	操作パネルシート	1
80	スリッププレート	1
81	メインモーター	1
85	銘板A	1
86	銘板B	1
87	ラジアル(φ5/φ11、4)	2
88	ラジアル(φ6/φ13、5)	2
89	ラジアル(φ6/φ15、5)	1
90	ラジアル(φ17/φ26、5)	1
91	ラジアル(φ6/φ17、6)	1
92	スラスト(φ8/φ16、5)	2
93	スラスト(φ6/φ12、4.5)	1
94	オイレスブッシュ80B-0403	1
95	オイレスブッシュ77B-0605	2
96	ワンウェイクラッチ	1
97	オイルシール(φ5/φ14、4)	1
98	オイルシール(φ4/φ9、3)	1
99	オイルシール(φ4/φ8、2.5)	1
100	φ3ボール	2
101	E型止め輪　呼び径3	6
102	平行ピン　φ6×25(h8)	1
103	平行ピン　φ2×8	2
104	Oリング　1AS-4	1
105	Oリング　1AS-8	1
106	レベラインナット	1
107	メタコン部組	1
108	ラチェット爪	5
109	ラチェットバネ	5
110	ドラグネジ	1
111	ドラグワッシャー	1
112	メタコンセットプレート	1
113	レベライン	1
114	カムメタルC	1
115	M2×8　ナベ小ネジ	3
116	M2×16　ナベ小ネジ	4
117	M2.6×4　ナベ小ネジ	3
118	M2.6×6　ナベ小ネジ	6
119	M2.6×10　ナベ小ネジ	2
120	M3×4　ナベ小ネジ	1
121	M3×5　ナベ小ネジ	7
122	M3×6　ナベ小ネジ	10
123	M3×8　ナベ小ネジ	11
124	M3×10　ナベ小ネジ	20
125	M3×12　ナベ小ネジ	3
126	M3×16　ナベ小ネジ	7
127	M3×30　ナベ小ネジ	1
128	M4×8　ナベ小ネジ	4
129	ハンドルナット	1
130	ハンドルナット固定板	1
131	サラバネ	22
132	オイレスメタル	1
133	ラチェット	1
134	液晶	1
135	制御基盤	1
136	電源基盤	1
137	サブモーター部組	1
138	モーター基盤	1
139	スピコン基盤	1
140	ハーネスA	1
141	ハーネスB	1
142	ハーネスC	1

アフターサービスについて



電動リールの調子が悪い場合は、ご購入頂いた販売店に修理をご依頼下さい。その際には必ず、修理箇所・不具合内容を具体的にお知らせ下さい。〔例:釣り糸の出がわるい〕
また、オーバーホールも同様に販売店にご依頼下さい。
電動リールを末長く快適にご使用されるためにも、年に1～2回はオーバーホールに出されることをお勧めします。
(有償)

修理・オーバーホールご依頼の流れ

❶製品お預け

お客様が販売店様へ製品をお預け下さい。

❷製品検査

販売店様からミヤエポック・アフターサービスに
お預かり製品の送付後、製品検査を行います。

❸見積もり内容のご連絡

ミヤエポック・アフターサービスから販売店様に
お見積もり内容をご連絡致します。

❹見積もり内容のご確認

お客様は販売店様から見積もり内容をご確認下さい。
ご確認後、修理・オーバーホールを行います。

❺修理・オーバーホールの終了

ミヤエポック・アフターサービスから販売店様に
製品を送付致します。

❻製品のお受け取り

お客様は販売店様から製品をお受け取り下さい。

アフターサービスのお問い合わせ

株式会社 ミヤエ
ミヤエポック部アフターサービス
〒577-0023 大阪府東大阪市荒本1-2-32
TEL (06) 7637-0119 FAX (06) 7637-0245

MEMO

電動リールのお手入れについて

●本機は完全防水(0.3気圧)ですので、ご使用後は真水をかけて汚れや塩分を洗い流し、柔らかい布で拭き取って下さい。
●シンナー等の有機溶剤系での、洗浄お手入れはお止め下さい。オイル拭きでのお手入れの際は、鉱物系ではなくフッ素系のものをお使い下さい。
●電動リールのコンセント部、電源コードのプラグ部、グリップ部、ガイドホルダー部は塩分及び水分をきれいに拭き取り、添付のグリースを塗って下さい。
●電動リールを使用しない時はコントロールレバーを手前に引き、スプールをフリーの状態にして保管して下さい。